



# 乙島っ子

令和5年度 NO. 3

令和5年 4月25日 倉敷市立乙島小学校

## 「自己指導能力」の獲得を支える

「自己指導能力」…生徒指導提要の中でしきりに語られる能力です。「自分で自分を指導する」…人間の究極の能力であるとも考えられます。提要では、「主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択、設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力」と述べられています。まさに、本校で大切にしている「非認知能力」そのものであり、生活科や総合的な学習の時間等で身に付けさせようとしている力そのものであるといえます。

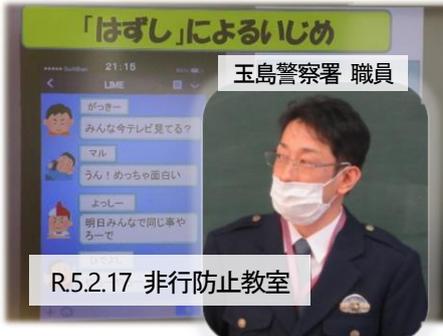
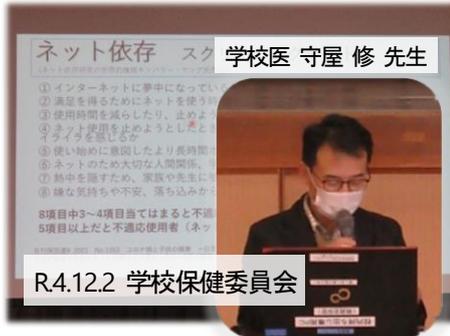
生徒指導提要では、この能力を、「学校、家庭、地域との連携・協働を密にし、身に付けさせることが大切である」と述べられています。即ち、私達大人が、「社会に開かれた生徒指導」という観点から児童の「自己指導能力」の獲得を支えることが大切です。

### 自己指導能力

選択や決定のときによく考えること	不本意な結果であっても真摯に受け止めること
自らの選択や決定に従って努力すること	周囲への影響や反応を考慮すること

## ネット依存については…

昨年度から学校保健委員会でも取り扱ってきている「ネット依存」等に関わる問題…。世に言う「誹謗中傷」などの大きな問題にならぬよう、本年度も重点的に児童の「自己指導能力」の獲得を支えるべく指導に当たっていきたくと考えています。6年生では、年度はじめのこの時期、「鉄は熱いうちに打て」と、学年集会をもち、「いじめ等の問題があって、分かる」のではなく、「先に分かっただけで、問題が起こらないようにするべき」ことを共に確認しました。



## 「お金」依存、「モノ」依存等については…

「お金」やお金で買った「モノ」でお友達とつながろうとする…筆者がこれまで勤務してきたいずれの学校でも多かれ少なかれ問題になってきたことです。「よい子の暮らし」でも、「物やお金のやりとり」や「お金のむだづかい」を律せさせるきまりを設けていますが、「なぜ いけないかを一緒に考える」ことが、自己指導能力の育成につながります。

**よい子の暮らし**

・ 物やお金のやりとりをするときは、必ずお金のやりとりのしるしを付ける。

・ 危険な場所や危険な遊びをしない。

・ 知らない人のさそいにはいかない。

・ 学校から帰った後でも、放課後、学校で遊ぶときは、おかしを持って来ない。

・ 帰宅時刻 3月～10月…6時までに家に帰る。 11月～2月…9時までに家に帰る。

・ 子ども同士で物やお金のやりとりをしない。

・ お金を大切に、むだづかいをしない。

- ・ 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶり、安全に気をつける。
- ・ 外出するときは、家の人に知らせる。
- ・ 「どこで」「だれと」「なにを」「いつ帰る」
- ・ 学区外へは、子どもだけで遊びに行かない。
- ・ 危険な場所や危険な遊びをしない。
- ・ (用水路、防火用水、火遊び、エアガンなど)
- ・ 知らない人のさそいにはいかない。
- ・ 学校から帰った後でも、放課後、学校で遊ぶときは、おかしを持って来ない。
- ・ 帰宅時刻 3月～10月…6時までに家に帰る。 11月～2月…9時までに家に帰る。
- ・ 子ども同士で物やお金のやりとりをしない。
- ・ お金を大切に、むだづかいをしない。

家庭科の学習でも、「金融教育」を取り上げていきます。